



グループにおける記録の活用

プロセスや効果を客観的に振り返る方法として

グループの中での体験を大切にしつつ、客観的にそのプロセスや効果を振り返ることは、より良いファシリテーションをしていく上で大切な作業になります。今回は、その方法のひとつとして、グループにおける「記録」に焦点をあて、その活用の仕方について検討します。

午前中は理論についてのレクチャー、午後はワーク等を取り入れ実践的に学びます。

日時 2012年12月9日（日）10:30～16:30

講師・ファシリテーター 坂中正義（福岡教育大学）

会場 西宮市大学交流センター 講義室2

ACTA西宮東館6階 ※阪急西宮北口駅より徒歩2分

参加費 4,000円

申込方法

電子メールで、下記アドレスまでお申し込みください。

facilitation2012@gmail.com

メールの件名は「研修会参加申込」とし、(1)氏名、(2)所属・職名、(3)連絡先（電話番号）を明記してください。折り返し参加の可否をお知らせしますので、その後参加費をお振込ください。

定員（20名）になり次第、受付を終了します。

講師紹介 坂中正義（SAKANAKA Masayoshi）

福岡教育大学 教育心理学講座 教授。博士（心理学）。学位論文では、ベーシック・エンカウンター・グループの実践とC.R.Rogersの中核3条件の理論の関係について関係認知の視点から量的データを元に分析。教員、看護学生、一般等を対象としたエンカウンターグループのファシリテーター経験30回以上。